

令和8年7月13日	資料 3
第1回山梨県がん対策推進協議会	

精密検査受診率向上対策について

精密検査受診率向上対策について

課題とこれまでの取り組み

【課題】 ・ 山梨県では、精密検査受診率は全国平均よりも低い。

【理由①】
・ 精密検査の結果が市町村まで伝わらず、
受診状況が未把握になっている

【理由②】
・ 要精検者に受診可能な精検医療機関の
一覧を提示できていない



【施策】
・ 精検医療機関から市町村へ受診結果が報告
されるよう運用方法の統一を行う

・ 精検医療機関の登録制度を創設し、登録さ
れた機関の一覧を市町村・一次検診機関か
ら要精検者へ配布

【各がん検診の統一運用に関するスケジュール】

	2019年度 (令和元年度)	2020年度 (令和2年度)	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)
子宮頸がん検診	統一運用の検討		運用開始			検証					
胃がん検診 大腸がん検診			統一運用の検討			運用開始			検証		
乳がん検診 肺がん検診						統一運用の検討		運用開始			検証

精密検査受診率向上対策について

令和6年度第2回山梨県がん対策推進協議会でのご意見

- 市町村に加えて、「検診機関」や「かかりつけ医」からも精密検査の受診勧奨を行うことが必要ではないか



① 検診機関から精密検査の受診勧奨をしてもらうため
対応状況や課題を把握し、対策を検討していくことが必要

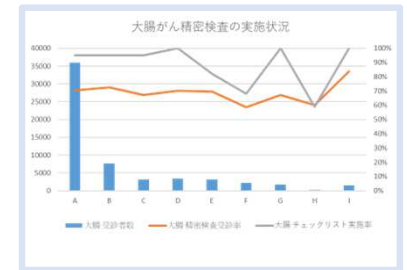
② かかりつけ医から受診勧奨してもらうため
「県下統一運用」制度の周知が必要

精密検査受診率向上対策について

対応

① 検診機関から受診勧奨をしてもらうため、現状を把握し、対策を検討

- 検診機関を訪問し、対応状況について聞き取りを実施 
- 検診機関ごとの精度管理の**指標**[※]を算出
- 生活習慣病検診等管理指導協議会 各がん部会**で課題を検討
- 検診機関、市町村にフィードバックし、受診の促進につなげる



※ 精密検査受診率、がん発見率、陽性反応的中率 等

② かかりつけ医から受診勧奨してもらうため、県下統一運用の制度を周知

- 県医師会との調整の準備を進めている